

吉田町吉田地区

Q215 [雇用確保について]

吉田町における働き場づくりであるが、吉田については市内でも若者が少なく、小学校入学者もいないような状況で、吉田町の小学校に入学したいが、入学児童が一人なら他町に住居を移して他町の学校へ行くという方も出てきている。

また、市の職員でも、かつては吉田町に住居として近くへ働きに出ればよいとのことだったが、ストロー現象が止まらなく今では木次、出雲へ住居を構えて、休みの日は吉田へ帰るといった状況になっている。定住化のためには働き場が必要であり、誘致工場等は難しいと思うが是非働き場づくりを考えていただきたい。

A

働き場所の減少については、経済情勢にもよるもので、合併したからということではなく、どの地域でも働き場所が近くにあったらという思いを抱いていると思う。吉田町についてはナカバヤシ工場が掛合と統合したが、それも一つの経済の流れの中での経過であり、新しい職場をつくることは難しいことである。しかし、一方で、掛合町では島根イーグル会社が仕事（雇用）を増やしたり、市内の農産物や食を活かした雲南ブランド化プロジェクトにおいては生産だけではなく、加工、販売を含めた取り組みが行われている。さらに、奥出雲産直振興協議会では年間の売り上げが7億弱をあげており、これに対する市内からの参加の必要性も高まっていると考えている。

今後もこういった方向性で雲南市のスケールメリットを活かした努力を続けていきたい。（市長）

木次町温泉地区

Q216 [JUKI工場の跡地利用の検討について]

旧ナカシマ、JUKI工場があるが跡地利用を検討してほしい。

A

かねてより有効活用の要望がございました。工場誘致は実現しておりませんが、高速道路関連の事務所が宿舎として利用されておりました。今は活用されておらず、市の産業振興センターにより誘致に努めている状況です。いろいろな面で有効活用できればと思いますが、JUKIのものでありますので市の意向ばかりではない面もありますが、情報収集をしていきたいと思っております。（産業振興部）